

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	由良町立由良中学校	吉村 元
学校所在地		
(〒 649 - 1113 ) 和歌山県日高郡由良町阿戸 708-1 tel 0738 ( 65 ) 0049 fax 0738 ( 65 ) 0978		
担当者名		役職名・担当教科
大野 貴史		教諭・数学科
<p><b>〔学校の概要〕</b></p> <p>由良町は紀州路のほぼ中央部、日高郡の北端に位置し、東に白馬連峰を背負い、西は紀伊水道に面し、その先端には石灰岩の奇岩が点在する白崎海岸がある。校区内には、万葉集にも詠まれている風光明媚な白崎海岸県立自然公園や開山以来700年あまりの伝統を持つ興国寺、平安時代初期(860年)に建立されたと伝えられている衣奈八幡神社があり、一年を通して県内外から訪れる多くの観光客でにぎわっている。</p> <p>深く入り込む由良湾は、古くから天然の良港といわれ、現在も台風時などには避難のため停泊する船舶も多い。本校は、この由良湾の最も入り込んだ地にあり、旧紀伊防備隊跡を利用した広大な校地をもつ。</p> <p>平成21年4月に町内3中学校(衣奈・白崎・由良港)が統合し、本年度開校15年目の学校である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
学年 2 年生 32 名	5 名 職員 5 名	教室・世界遺産センター・高野山
実践研究テーマ		
「地域を創る ～想いを受け止め、願いを受け継ぐ～」		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「地域に生きる」	
<p><b>〔キーワード〕</b></p> <p>世界遺産学習 ふるさと学習 地域の課題 地域の未来</p>		
<p><b>〔単元目標〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの故郷和歌山について知ることで、地域の課題や将来について考える力を育てる。</li> <li>ふるさと和歌山の文化財を大切に、後世に受け継いでいく心と態度を育てる。</li> <li>「紀伊山地の霊場と参詣道」に関する基本的な知識を身につけることで、郷土和歌山に対する理解を深める。</li> </ul>		
<p><b>〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕</b></p> <p>全体 12 時間 (「地域に生きる」 12 時間 )</p>		
<p><b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b></p> <p>世界遺産マスター … 次世代育成事業(現地学習)</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 2	事前指導	高野山に関する動画を視聴し、ワークシートを完成させる。	ワークシート
3 4 5 6 7 8	現地学習	世界遺産マスターや世界遺産センターの職員の講義を聴き、高野山についての知識を得る。また、高野山を歩き、高野山の自然や古の人々の思いを感じ取る。	観察
9 10 11 12	まとめ学習 新聞作成	写真などを使い、視覚的に分かりやすく、興味を引くことができる新聞を作成させる。世界遺産の良さ・魅力が伝わる新聞を作り、後世に伝える意識を持たせる。	新聞
〔单元学習の成果と課題〕			
○成果 ふるさと和歌山について生徒たちは知らないことも多く、興味・関心・知識を得ることができた。また、本事業における事前学習や現地学習を行うことで、世界遺産についての知識や、古の人の思い、この遺産を大切にし、後世に残していこうとする思いを持つことができた。			
○課題 寒い中での現地学習で、集中力を欠く生徒もいた。また、新聞を作成し、掲示することで全体での共有をすることができたが、発表をする時間までは設定できなかった。			
〔世界遺産学習の効果〕			
世界遺産については社会科の学習の中で取り扱ってはいるが、実際に生徒自ら高野山を訪れることで、世界遺産が身近なものとして認識することができた。また、和歌山にある他の世界遺産についても興味を持ち、『行ってみたい』『歩いてみたい』という思いを持つことができた。今まで知らなかった和歌山の魅力について知ることができ、自然や歴史的な文化財を守り、後世に伝えようとする思いを持つきっかけになった。また、和歌山県の文化財について興味を持ち、文化財の良さや歴史を分かりやすく伝えようとする意識を持つことにつながった。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
学習時間や予算の関係から、本校独自で高野山を訪問することは難しい。身近な所に熊野古道（紀伊路）があるので、そこに焦点を当て、世界遺産である中辺路や熊野三山、高野山の学習につなげていくことが必要だと考える。世界遺産の保全などに携わる人からお話を聞いたり和歌山の文化財について調べたりする学習を行い、まとめることで、和歌山県の世界遺産や文化財に興味を持たせ、世界遺産や文化財の保全や後世に伝えていく態度を養っていきたい。			

様式 2

令和 5 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

1 人ずつテーマを決め、現地学習で学んだこと、資料やインターネットを活用し調べた内容を新聞にまとめた。



できあがった新聞をひとりひとり掲示し、全体での共有を図った。

